

都立拝島高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 情報 科目 情報 I

教科： 情報 科目： 情報 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： （全組：石原）

使用教科書： （情報 I Step Forward! ）

教科 情報 の目標：

- 【知識及び技能】 情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解する。
- 【思考力、判断力、表現力等】 事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとする。

科目 情報 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決するための知識と技術をそなえ、適切かつ効果的に用いている。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	第1章 情報社会 【知識及び技能】 情報社会の現状や、特性、モラルなどについて知識を身につけ、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な情報技術について理解し、課題解決の方法をについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 単元内容について小テストに対する取り組み姿勢を養う。	1. 情報とその特性 2. メディアとその特性 3. 問題を解決する方法 4. 情報の収集とその分析 5. 解決方法の考案 6. 知的財産 7. 個人情報 8. 情報セキュリティ 9. 情報モラルと個人の責任 10. 情報技術の進歩と役割 11. 情報技術が社会に与える光と影	【知識・技能】 各内容について説明することができる。 【思考・判断・表現】 例や改善方法などを挙げることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 小テストの取り組み状況	○	○	○	13
	第2章 情報デザイン 【知識及び技能】 メディアに関する知識と、インターネットを活用したコミュニケーション、情報のデザインについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な情報技術について理解し、課題解決の方法をについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 単元内容について小テストに対する取り組み姿勢を養う。	12. コミュニケーションとメディア 13. 情報のデジタル化 14. 数値の表現 15. 2進法の計算 16. 文字のデジタル表現	【知識・技能】 各内容について説明することができる。 【思考・判断・表現】 例や改善方法などを挙げることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 小テストの取り組み状況	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学期	第2章 情報デザイン 【知識及び技能】 メディアに関する知識と、インターネットを活用したコミュニケーション、情報のデザインについて理解する。 Webページを作成できるようになる。	17. 音のデジタル表現 18. 画像のデジタル表現 19. データの圧縮 20. デジタルデータの特徴 21. メディアと文化の発展 22. ネットコミュニケーションの特徴 23. 情報デザイン 24. 操作性の向上と情報技術 25. 全ての人に伝わるデザイン 26. コンテンツ設計	【知識・技能】 各内容について説明することができる。 【思考・判断・表現】 例や改善方法などを挙げることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 小テストの取り組み状況	○	○	○	14
	第3章 プログラミング 【知識及び技能】 アルゴリズムを用いてプログラムを表現する方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 変数や関数を使用したプログラムを作成する。 【学びに向かう力、人間性等】 単元内容について小テストに対する取り組み姿勢を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な情報技術について理解し、課題解決の方法をについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 単元内容について小テストに対する取り組み姿勢を養う。	27. コンピュータの構成 28. ソフトウェア 29. 処理の仕組み 30. 論理回路 31. アルゴリズムの表現 32. アルゴリズムの効率性 33. プログラムの仕組み 34. プログラミング入門 35. プログラムの応用 36. 問題のモデル化 37. モデル化の活用 38. シミュレーション 39. シミュレーションの活用	【知識・技能】 各内容について説明することができる。 【思考・判断・表現】 例や改善方法などを挙げることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 小テストの取り組み状況	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学期	第4章 ネットワークの活用	40. 情報通信ネットワーク 41. デジタル通信の仕組み 42. インターネットの利用 43. 安全安心を守る仕組み 44. 情報システム 45. さまざまな情報システム 46. 情報システムの信頼性 47. データの活用とデータベース 48. データの管理 49. データの収集と種類 50. データの分析 51. 不確実な事象の解決 52. 2つのデータの関係	【知識・技能】 各内容について説明することができる。 【思考・判断・表現】 例や改善方法などを挙げることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 小テストの取り組み状況				14
	定期考査						1 合計 70